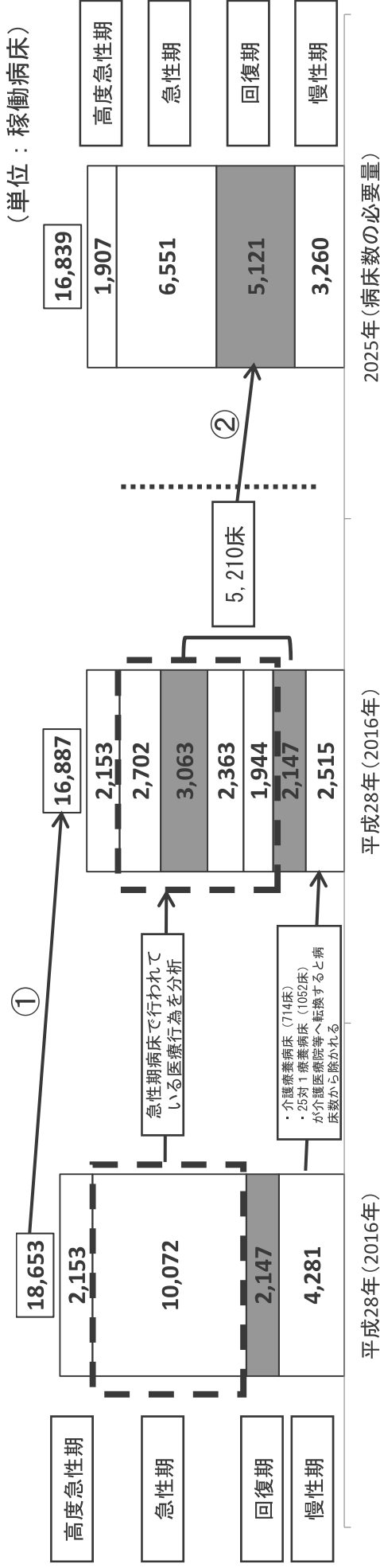


【病床数の必要量と病床機能報告の関係（長野県全体）】

（別紙）

- ① 慢性期病床のうち、介護療養病床及び看護配置25対1の医療療養病床1,766床が介護医療院等へ転換していくことで、総病床数としては16,887床となり、病床数の必要量16,839床に収れんされていく。
- ② 急性期と報告されている10,072床のうち、病床あたり月1件以上のリハビリが行なわれている病床は3,063床存在しており、回復期と報告されている病床と合わせると5,210床となる。



【参考：飯伊医療圏の状況】

- ① 介護医療院等への転換対象となる介護療養病床218床、25対1の医療療養病床6床を除いた総病床数は1,335床となる。
- ② 急性期と報告されている901床のうち、281床はリハビリ機能を有している。

